

News Release

2018年6月28日

AI・IoT 技術の社会実装を加速させる「スマートイノベーションラボ」設立について ～パートナー企業や大学などと社会課題解決に向け共創～

- 東日本電信電話株式会社(以下、「NTT 東日本」)は、通信ビルなどの当社アセットを活用した共同実証環境、「スマートイノベーションラボ^{※1}」を設立し、パートナー企業や大学などと共に、AI・IoT技術を活用したビジネスモデルの早期実現および社会実装を加速させ、社会課題の解決を目指します。
- 上記に伴い、「スマートイノベーションラボ」を活用した共同実証を行うパートナー企業および大学^{※2}を幅広く募集します。

※1 「スマートイノベーションラボ」は現在商標出願中です。

※2 共同実証を行うパートナー企業および大学につきましては、実証内容などをヒアリングのうえ決定させていただく予定です。

1. 背景と目的

昨今、高齢化や人手不足などの社会課題解決に向け、AI・IoT 技術を実ビジネスに活用する動きがあらゆる産業・分野に広がっています。

こうした中、収集されるデータの飛躍的な増加に伴う通信量の増加や即時に秘匿性の高いデータを処理するには、1 次処理を行うエッジ拠点^{※3}等の設置によるクラウドへの通信量の削減や低遅延かつセキュアな通信環境、また当該データの解析に必要とされる高性能なサーバ環境が求められています。

一方、このような AI・IoT 技術を社会実装させるためには、実証実験を行い試行錯誤しながら有効性を検証する必要があり、様々な企業や大学から、AI・IoT 技術を共同で検証できる環境を要望する声が多く挙がっております。

NTT 東日本ではこうした背景を踏まえ、当社が保有する通信ビルなどのアセットを活用し、AI・IoT 技術を保有するパートナー企業や大学などと共同で検証を行うことができる実証環境「スマートイノベーションラボ」を設立します。

※3 カメラやセンサーなど IoT デバイスの近傍にデータ収集・処理を行うサーバやストレージを設置している拠点

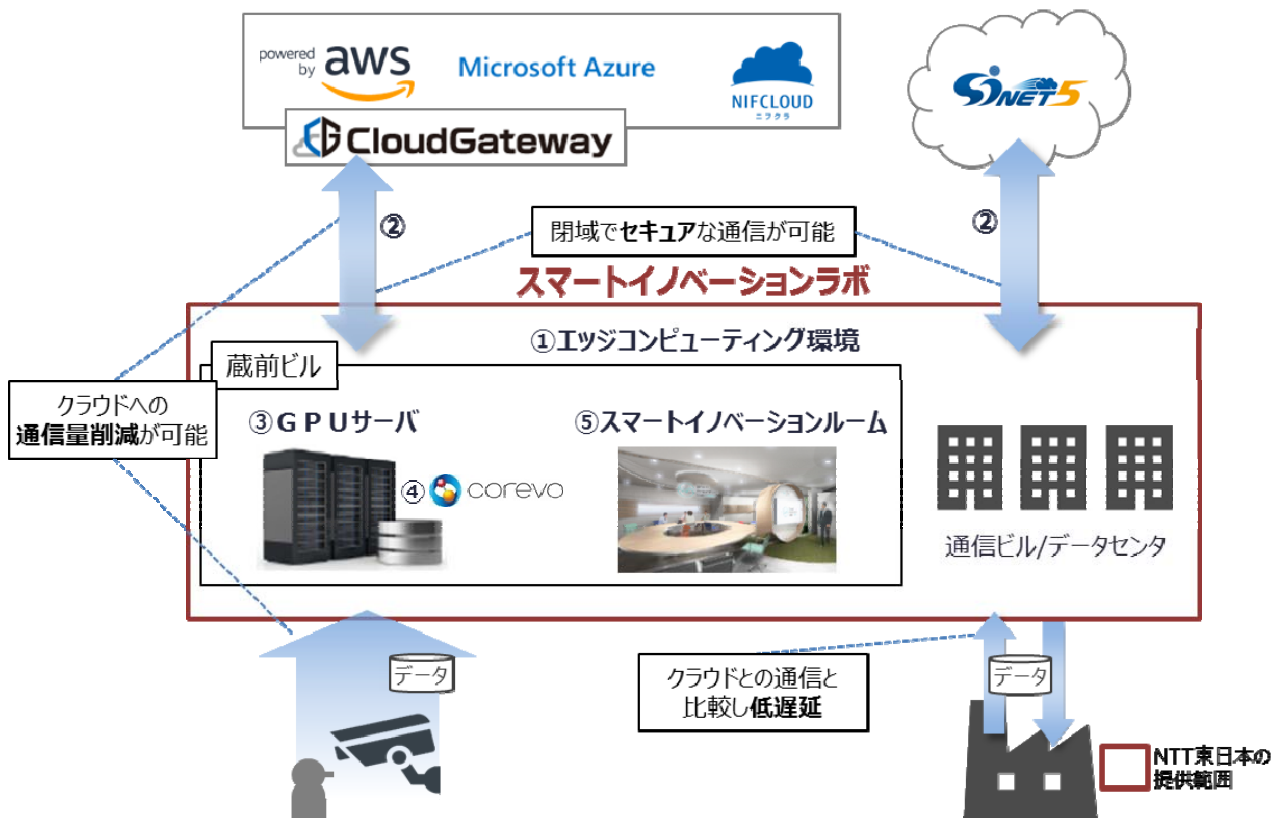
2. スマートイノベーションラボについて

(1) 主な提供内容

「スマートイノベーションラボ」では、NTT 東日本が各地に保有する通信ビルやデータセンターなどを活用したエッジ拠点での閉域ネットワークを提供し、低遅延かつセキュアな通信環境を提供します。

また、「スマートイノベーションラボ」の中核となる NTT 蔵前ビルでは、膨大なデータの高速処理が可能な GPU サーバや NTT グループの AI 関連技術「corevo[®](コレボ)」の学習高速化技術などのサーバ環境の配備に加え、パートナー企業や大学が共同作業できるスペースである「スマートイノベーションルーム」を設置します。

<スマートイノベーションラボのイメージ>



【通信環境】

- ① エッジコンピューティング環境
NTT 東日本保有する通信ビルまたはデータセンターでの低遅延の通信が可能な検証環境の提供
- ② パブリッククラウド(AWS など^{※4})や SINET^{※5}との直接接続可能な環境
閉域ネットワーク接続によるパブリッククラウドや、SINET^{※5}とセキュアな通信環境を提供

【サーバ環境】

- ③ GPU サーバ
AI の学習に最適な専用サーバの配備により、AI 学習に必要なデータの高速処理が可能
- ④ NTT 研究所技術「高速オプティマイザ: Adastand^{※6}」 corevo
AI における従来の学習アルゴリズムと比較して約 2 倍～5 倍高速化が可能な NTT ソフトウェアイノベーションセンターが開発したディープラーニングの学習高速化技術が利用可能

【共同作業スペース】

- ⑤ スマートイノベーションルーム
パートナー企業が快適に検証や議論を行うためのワーキングスペースを提供

※4 Amazon.com,Inc.の Amazon Web Services (AWS)、日本マイクロソフト株式会社の Microsoft Azure、および富士通クラウドテクノロジーズ株式会社の NIFCLOUD は各社の商標または登録商標です。

※5 SINET は日本全国の大学、研究機関などの学術情報基盤として、国立情報学研究所(NII)が構築、運用している情報通信ネットワークになります

※6 NTT グループの AI 関連技術「corevo®(コレボ)」^{※6}の 1 つ corevo
「corevo®(コレボ)」は日本電信電話株式会社の商標です。

<参考:スマートイノベーションルームの活用イメージ>

●共同作業



●打合せ



●プレゼンテーション



●個人作業



(2) 利用開始日

2018年6月28日

(3) 利用条件

別途お問い合わせください。

3. 今後予定している実証実験について(五十音順)

■埼玉県

埼玉県内で製造業を営む中小企業を対象に、AI導入による生産性向上効果を調査・確認するために、スマートイノベーションラボを活用します。

<URL> <http://www.pref.saitama.lg.jp/a0801/ai-ntte.html>

■SOMPOホールディングス株式会社

事業創出プラットフォーム”SOMPO D-STUDIO”で取り組むDeepLearningを活用したAI実験、及び「カシャらく見積り」(他社証券等を画像撮影し読み取るアプリ)などの代理店の生産性向上を図るAIや多様なサービスを可能とするAIアプリケーションの開発で、スマートイノベーションラボを活用します。また、AI学習の効率化には、スマートイノベーションラボで利用できるAI学習の高速化技術を活用します。

<URL> <https://sompio.io/d-studio/>

■DVERSE Inc.(ディヴァース・インク)

VR空間での3Dモデルの物体認識・画像判別等、最新のAI×VR/AR技術の融合により、全国インフラ設備の自動点検化やSYMMETRYの高度化を図り、お客様にとって価値あるサービスの提供を目指します。また、NTT東日本の通信ビルまたはデータセンターを活用した低遅延化によるパフォーマンス向上にも取り組んでいきます。

<URL> <http://symmetryvr.com/>

■株式会社 博報堂 DY ホールディングス

潜在需要発掘等、生活者の“ホンネ”を理解するために、IoTなどで発生する様々な実世界データに対し、AI技術を活用することで、生活者の情動反応、無意識下の行動を数値化し、博報堂DYグループが保持する「生活者DMP^{※7}」の拡充を図ります。

※7 生活者の情報行動・購買行動・意識といったデータに先端テクノロジーを掛け合わせて開発した博報堂DYグループ独自のマーケティングデータ基盤。

<URL> <https://www.hakuhodody-holdings.co.jp/>

* 各社の社名、製品名、サービス名などは各社の商標または登録商標です。

4. 今後の展開について

パートナー企業や大学との共同実証を通じて得た知見を元に、NTT 東日本では東日本各地に広がる通信ビルやデータセンター、閉域ネットワークを活用したセキュアで高信頼な AI・IoT 基盤を提供し AI・IoT の社会実装を加速させ、社会課題解決の貢献を目指します。

5. お問い合わせ先

下記の問い合わせフォームよりお問い合わせください。

URL: <https://business.ntt-east.co.jp/service/sil/>